

〔長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。〕

公共施設の将来のあり方を考える市民対話《伊王島・香焼・深堀エリア》

❀ 第3回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日時 平成31年1月17日(木) 19:00~21:00

場所 香焼公民館

参加者 地域の皆さん 44人



1 第3回までに話し合ってきた内容

第1回

(11/8)

- 長崎市の**公共施設の現状**や**見直しの必要性**について
- 伊王島・香焼・深堀エリアの**見直した方がいいと思う施設**について

第2回

(12/13)

- 市全体と、伊王島・香焼・深堀エリアにある**施設の配置の考え方**を説明
- 市が提示した**配置の考え方**に対して、**意見・提案**を行う

第3回

(1/17)

- 第2回でいただいたご意見等を踏まえて、**市で検討した結果**を説明
- 意見交換**
- 対話のまとめ**



2 皆さんからのご意見・ご提案と市からの回答

伊王島ゲートボール場について

第2回

(住民)
主な提案

- 伊王島診療所の駐車場が少ないので、ゲートボール場を廃止した跡地を診療所の駐車場にしてはどうか。



伊王島ゲートボール場

第3回

(市)
回答

- ・伊王島診療所では、週1回の歯科診療日など、駐車場が不足することもありますので、不足する頻度等の確認を行い、皆さんが利用しやすくなるよう、方策を検討したいと思います。
- ・ゲートボール場の敷地は広い(約720㎡)ので、ゲートボール場の敷地を一部駐車場として使うこともあるかもしれませんが、駐車場として必要となる部分以外は、民間への貸付や売却により、有効活用を図っていきたく考えています。



伊王島国民健康保険診療所

伊王島小学校の跡地について

※伊王島小学校は、2019年4月に伊王島中学校へ移転予定です。



伊王島小学校

第2回

(住民)
主な提案

- 伊王島小学校が中学校へ移転した後、小学校の跡地をバスの巡回所にすれば、バスの便が増えるのではないかな。

第3回

(市)
回答

- ・伊王島小学校の校舎や体育館は、耐震基準を満たしていないため、中学校への移転後に解体予定です。解体後の小学校の用地については、当面の間、学校の敷地として保有し、一体的に管理したいと考えています。

伊王島ふれアイランド(伊王島地区活性化交流拠点施設)について

第2回

(住民)
主な意見

- ペーロン体験の後に、シャワーを浴びられるよう、伊王島ふれアイランドの中にシャワーを設置してほしい。



伊王島地区
活性化交流拠点施設

第3回

(市)
回答

- ・市では、ペーロン体験を受け入れる施設を1か所保有しています。地域でのペーロン体験の受け入れについては、各地区で地域が主体となって活動されていると思いますが、市としてシャワー設備を設置することは難しいので、地域内の各種団体との連携などにより、ご対応いただきたいと思います。

伊王島地域センターについて

第2回

(住民)
主な提案

- 伊王島地域センターは空き室が多いので、伊王島開発総合センターに行政機能を移し、機能を一つの建物に集約してはどうか。



伊王島地域センター

第3回

(市)
回答

- ・開発総合センターの一部を地域センターとして活用するとした場合、スペースの確保や施設のバリアフリー化など、移転に必要な検討を行ったところ、開発総合センターの貸室として使用している部分を転用しない限り、スペースと建物の構造上、地域センターの移転は難しいということがわかりました。



伊王島開発総合センター

☆その他にも空きスペースの活用について、ご提案をいただきました☆

- 人が集まるような施設にしてはどうか。
(図書室・観光案内所・放課後子ども教室など)
- 地域センターにお金が落ちる仕組みを作ってはどうか。
(カフェとして民間に貸付け・伊王島で開催するイベントの倉庫やロッカールームとして貸出すなど)
- バリアフリー化して、利用しやすくする。
(エレベーターの設置など)



第3回

香焼総合公園について



香焼総合公園

第2回

(住民)
主な提案

- 公園の上の方にばかり駐車場があるので、下の海老瀬の方も活用して、上からも下からも行きやすくしてはどうか。
- 香焼はチューリップまつりも盛んで、自然豊かな香焼総合公園にも花があるので、花のまちとしてもっとPRして、多くの人に訪れてもらってはどうか。

第3回

(市)
回答

- ・海老瀬側の園路は、公園の管理用道路であるため道幅が狭く、管理の目も行き届かないなど、車での通行は利用者の安全を確保することが難しいため、現在、開放することはありません。なお、歩行者の通行は可能です。
- ・香焼総合公園のPRについては、多くの方に訪れていただき、公園全体を利用いただけるよう、下側のサクラ園やアジサイ園、辰ノ口側駐車場などの周知に努めていきます。

香焼ペーロン船格納庫について

第2回

(住民)
主な意見

- 市は地元への移譲を考えているとのことだが、どういった形での移譲となるのか。早く話を進めてもらいたい。
- 地元に移譲されると、大規模改修などの財政負担が厳しいのではないか。



香焼ペーロン船格納庫

第3回

(市)
回答

- ・ペーロン船格納庫は、市内全域で、各地区のペーロン協会や自治会が管理されていますので、市が所有しているペーロン船格納庫については、地元へ移譲したいと考えています。具体的な移譲のあり方については、香焼のペーロン協会を中心に今後協議を進めさせていただきたいと考えています。

旧山中住宅について

第2回

(住民)
主な意見

- 旧山中住宅は、景観上も治安上も良くないので、取り壊すなら早く取り壊してほしい。



旧山中住宅

第3回

(市)
回答

- ・旧山中住宅は、今後行政目的で使用する予定はありませんので、建物を付けたままでの売却に向けて手続きを進めています。

香焼公民館別館の活用について

第3回

❀香焼公民館別館の活用について、ご提案をいただきました❀

- 現在の会議室は広すぎるので、事務室などの小さい部屋を会議室として使ってはどうか。
- 駐車場が広く利用しやすいので、地域コミュニティの場として使ってはどうか。
- 子育て支援センターを設置する。
- 運動ができる場所にする。(トレーニングジム・高齢者向けの運動など)
- 認知症カフェやエイサーなどの活動は継続させてもらいたい。



香焼公民館 (別館)



深堀体育館について



深堀体育館

第2回

(住民)
主な意見

●深堀地区には、百人単位で集まれる施設がなく、体育館で敬老会などを行っているので、多目的に利用できるように冷暖房設備を整備してほしい。

第3回

(市)
回答

・通常、スポーツで体育館を利用する場合は冷暖房は使用しないため、冷暖房設備の整備については、費用対効果や利用状況を踏まえた判断が必要だと考えています。
・しかし、地域の行事として、敬老会などで多目的に利用されている実態もあるとお聞きしていますので、今すぐ冷暖房設備を設置することは難しいと思いますが、どのような対応ができるのか、手法を検討していきたいと思っています。

デイサービスセンター撤退後のスペースの活用について



深堀地区老人
デイサービスセンター

第2回

(住民)
主な提案

●子育て支援センターと児童館にしてはどうか。

・子育て支援センターは、子育て中の皆さんが気軽に集い、相互に相談や交流ができる場として、市内16区域に設置することとしており、伊王島・香焼・深堀エリアにも1か所設置する計画です。設置場所については、地域の皆様のご意見も伺いながら決めていきたいと考えています。

・地域にある特定の年齢層(子どもや高齢者)を対象とした施設は、将来的に、多世代が使える施設へと利用方法や機能を見直していきたいと考えています。市内に今ある児童館についても、子どもさんが安心して行ける場を確保したうえで、同様に多世代が利用できる施設へと見直していきたいと考えています。



第3回

(市)
回答

☆その他にも撤退後のスペースの活用について、ご提案をいただきました☆

- 児童館、深堀貝塚遺跡資料館、深堀地域センター内の図書機能を備えた複合施設にしてはどうか。
- 現在、お遊び教室を深堀中学校の武道場で行っているが、冷暖房がないので、ここで開催してはどうか。



深堀地域センターについて



深堀地域センター

第2回

(住民)
主な提案

●深堀地域センターは、大通りから入ったところにあるので、多くの方が利用しやすいよう、表の方(大通り)に移したほうがいいのではないか。

第3回

(市)
回答

・現在地は、県道から少し奥まった場所にあり、車やバスで行くには、不便な面もあるかと思っています。地域センターを移転とした場合、地域内の他の施設の状況を踏まえながら検討する必要があると考えます。





深堀貝塚遺跡資料館

第2回

(住民)
主な意見

●縄文、弥生から現代までの深堀の2500年の歴史を伝えるため、展示資料を整理、拡充した、民俗資料館としてもらいたい。

・出土品を発掘された地域で見ってもらうことには大きな意義があると考えていますので、資料館は引き続き、地域に配置を行います。深堀の歴史を紹介する資料については、地域のご意見をお聞きしながら、適宜、展示替えを行うなど、皆さんに喜んでいただけるような展示を目指していきたいと考えています。

(市)
回答

・しかし、現在の建物は白蟻の被害を受けており、老朽化しているため、将来的には深堀遺跡内または隣接地にある他の施設で、より多くの方に見ていただける場所へ移設できればと考えています。

(住民)
主な意見
提案

●資料館は、デイサービスセンターの跡地において、児童館、図書室と一緒にすれば、子どもから大人まで幅広い世代に見てもらえる。建物よりも、資料の中身を見てもらって、勉強する機会を増やした方がいいのではないかな。

●資料館のある場所から発掘された出土品を、別の場所で展示しても意味がない。資料館は、現在地にあることに意味がある。

・これまでの「今ある施設が古くなったら、全てを新しく建て替える」というやり方は、これからの時代では立ち行かなくなってしまいます。そこで、「どうやって行政サービスを維持していくか、どんな工夫ができるか」ということを、地域の皆さんと一緒に考えたいということで、市内全域で市民対話を行っています。



・資料館についても何か工夫ができないかということで、将来的に深堀地区内の他の施設への移転という、ひとつの考えをお話いたしました。

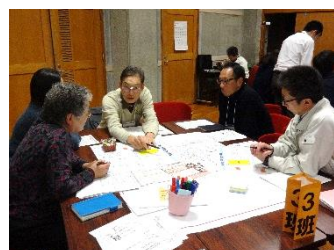
今回地域の皆さんのさまざまな想いや、考えをお聞かせいただいたので、資料館としての施設のあり方や使い方については、市民対話でいただいたご意見等を踏まえて、今後さらに検討していきたいと思えます。

(市)
回答

・長崎市では、市立図書館を拠点として、公民館やふれあいセンターなどの56か所の図書室をネットワークで結び、身近なところで、市立図書館や各施設の図書を相互に利用できる体制を整えています。

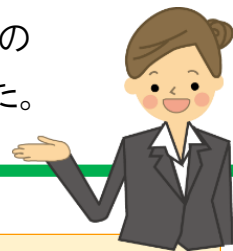
このネットワークは、全国的にも進んだ取り組みです。深堀地区には、ネットワークを利用できる施設として、深堀地区ふれあいセンターがありますので、図書については、そちらをご利用いただきたいと思います。

第3回



市民対話について

この市民対話は、「人口が減ったり、少子高齢化が進んでも、暮らしやすいまち」であり続けるため、公共施設のあり方・使い方について、地域の皆様と行政と一緒に考える場として、地域に必要な機能(行政サービス)を維持していくために、まちづくりにつながる公共施設の見直しについて、地域の声をお聞きし、できる限り、地域の実情にあった施設の見直しを行いたいという主旨から、以下を目的として開催させていただきました。



目的

- ① 公共施設の現状や見直しの必要性について、ご理解いただきたいこと
- ② 行政サービスの方向性や、その拠点の配置についての市の基本的な考え方をもとに、地区内に配置されている「施設の見直しの大きな方向性」について、一緒に考えていただくこと
- ③ 地域に住んでいるからこそわかる実情や問題点を踏まえた、ご意見やご提案をいただき、今後策定予定の地区別計画に反映させること

その中で、たくさんのご意見やご提案をいただきましたので、今後、市の中で検討する際の参考にさせていただきたいと思います。

【講評】 (アドバイザー：一般財団法人 建築保全センター 池澤 龍三氏)



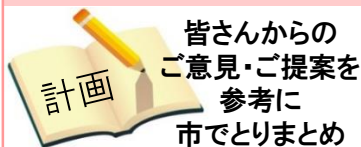
- 市民対話というのは、各地域、各世代、いろいろな方のご意見があるので、市には、地域の皆様の想いというのを、真剣に受け止めていただき、検討していただきたいと思います。個々の施設の計画については、今後詳細な計画になってくると思いますので、この市民対話をきっかけとして、引き続き一緒に考えていっていただきたいと思います。

3 今後の流れ

市民対話(全3回)



地区別計画(案)の策定



公共施設の地区別計画(案)を策定しましたら、伊王島・香焼・深堀エリアの皆さんへ改めてお知らせいたします。たくさんのご意見・ご提案をありがとうございました。



◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室 (☎直通：095-829-1412)